

持続可能な地域公共交通の実現

地域公共交通の危機的な状況

人口減少等や新型コロナウイルス感染症の影響により九州の公共交通の利用者はピーク時の3～8割程度まで減少しています。

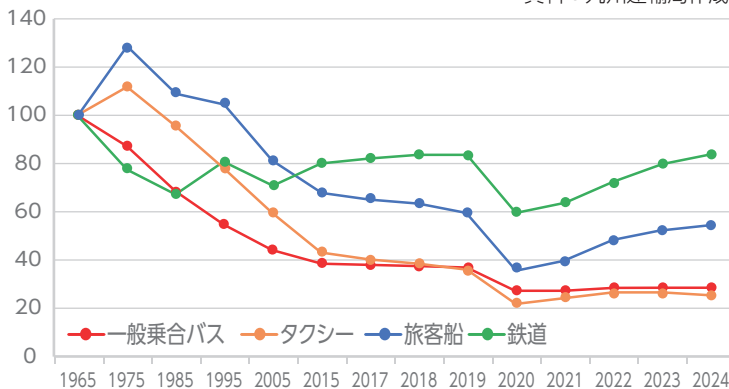
また、運転者不足等を要因として、乗合バス路線や鉄道路線の減便・廃止が九州各地で相次いでおり、地域公共交通は大変厳しい状況に置かれています。



公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

九州地方のモード別輸送人員の推移 (1965年度を100とした場合)

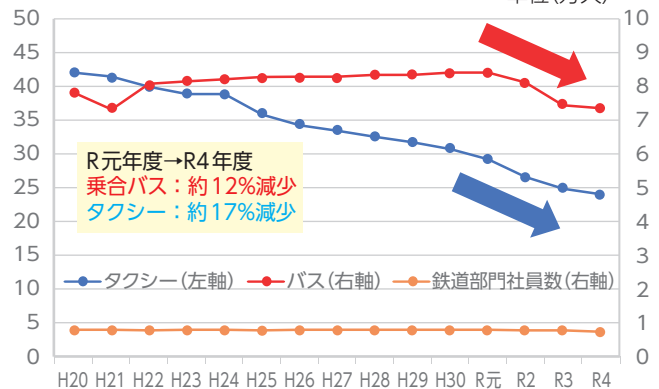
資料：九州運輸局作成



※データの関係上、旅客船は1966年度を100、タクシーは1967年度を100としている。
※年度ごとの集計

運転者数の推移 (バス・タクシー・鉄軌道)

単位(万人)



(出典)「自動車輸送統計年報」「鉄道統計年報」より国土交通省作成

「交通空白」解消に向けた取組

地域住民や来訪者がタクシー、乗合タクシー、日本版ライドシェアや公共ライドシェア等の移動手段を利用できない「交通空白」は我が国のあらゆる地域における待ったなしの課題です。そのため、2024年7月に設置された国土交通省「交通空白」解消本部のもと、自治体・交通事業者とともに、「交通空白」解消に向けた取組を推進しています。

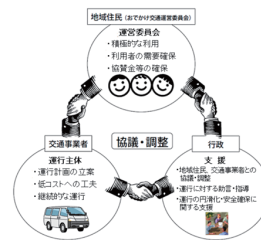
九州の取組事例

【路線バスの減便・廃止に伴う代替交通の確保】



長崎県東彼杵郡川棚町・波佐見町／公共ライドシェア

【地域住民の日常生活や外出を支援する生活交通の確保】



福岡県北九州市／官民連携による乗合ジャンボタクシーの運行

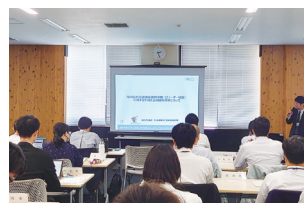
九州管内取組事例集の作成

九州管内の取組事例のうち、主に「事例の背景」「導入・拡充した交通サービスとその内容」に着目して概要をまとめた事例集を作成・公表



市町村向け研修会

各県と連携し、市町村の担当者向け研修会等において、法制度や補助メニューの活用について情報発信



長崎県研修会



宮崎県研修会

地域公共交通のリ・デザインに向けた様々な取組

— 利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通を目指して —

交通DX（九州MaaSの導入）

交通DXの取組が広がっています。

代表的な取組として、九州全域でサービスを提供する「九州MaaS」が2024年8月からスタートしました。

※DX…デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用し業務をよりよく変革する取組。



<p>01 旅行はもちろん普段の移動にも</p> <p>市内の旅行はもちろん出張や帰省にも、市内の移動も便利で快適に変化します。</p>	<p>04 おトクな料金おトクな特典</p> <p>安く移動できるプランや、観光地で受けられる特典チケットなど、自分に合ったプランも選べます。</p>
<p>02 スマホひとつで簡単に移動</p> <p>わざわざ乗車券を買わなくても、スマホでデジタルチケットを購入するだけでOK!</p>	<p>05 最適なルート案内で時間を節約</p> <p>リアルタイムの交通情報や混雑状況に基づいて、最適なルート案内するから待ち時間など無駄な時間を減らせます。</p>
<p>03 複数の交通手段をまとめて予約・決済</p> <p>バス、電車、タクシーなど複数の交通手段をひとつのアプリでスムーズに予約できる!</p>	<p>06 環境にやさしい新しい移動</p> <p>公共交通機関やシェアリングサービスの利用が促ると交通渋滞の緩和やCO2排出量の削減に。</p>

交通・物流のGX推進

● グリーン経営の普及促進

運輸事業者において環境改善に向けた取組を自主的かつ継続的に行うことが出来るよう、グリーン経営認証制度についての講習会を実施し、GX推進に取り組んでいます。

グリーン経営認証事業所数 (R7年11月末現在)
450事業所 (九州管内)



● エコ通勤優良事業所の認証

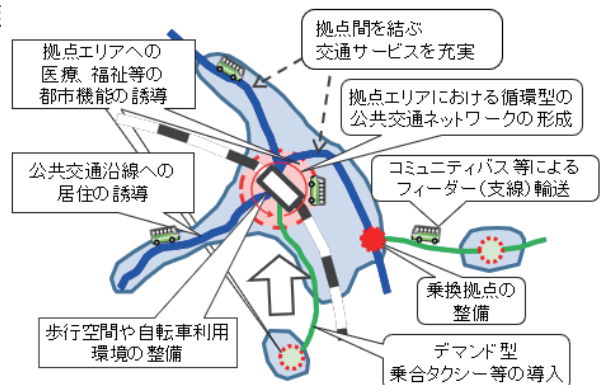
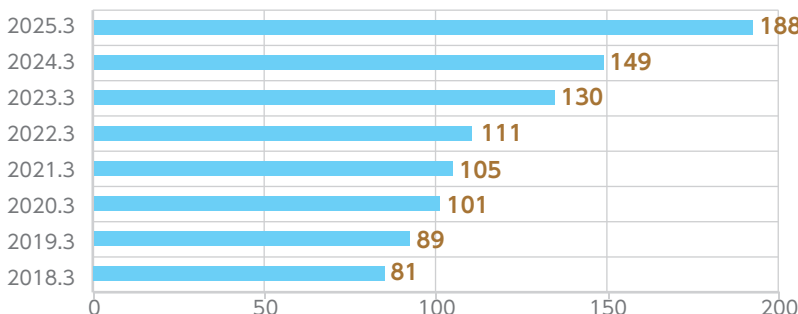
エコ通勤とは、車から環境に優しいエコな通勤手段に転換するなど、事業所が主体的により望ましい通勤交通のあり方を考える取組であり、優良事業所として認証する制度があります。



地域交通のマスタープラン「地域公共交通計画」の策定

国土交通省では地域公共交通計画の策定を推進しています。また、まちづくり施策との連携も推奨しています。

九州運輸局では、地域の事情に寄り添った助言を通して、地域交通の現状や課題に即した、実のある計画の策定を推進しています。



持続可能な地域公共交通の実現

ローカル鉄道のあり方等の検討

多くのローカル鉄道において、利用状況の低迷等により厳しい経営状況が続く中、九州管内でも、地域の関係者間において今後のあり方等を検討する動きが進んでいます。

島原鉄道線（諫早～島原港）

長崎県地域公共交通活性化協議会の配下に設置した「島原鉄道活性化検討部会」において、島原鉄道沿線地域の持続可能な公共交通の確保・維持について今後の方向性等を議論

肥薩おれんじ鉄道線

鹿児島県・熊本県が設置した法定協議会「肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会」において、地域公共交通計画を策定し、今後のあり方を議論

JR指宿枕崎線（指宿～枕崎）

鹿児島県を事務局とした任意協議会「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」において将来のあり方を検討

平成筑豊鉄道（伊田線・糸田線・田川線）

福岡県が設置した法定協議会「平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会」において今後のあり方を議論

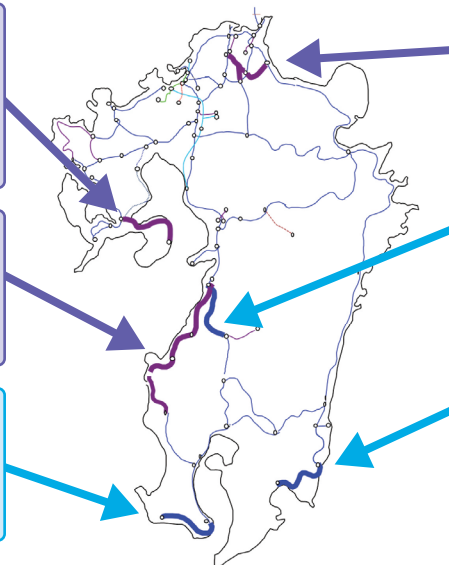
JR肥薩線（八代～人吉）

JR九州と熊本県が鉄道復旧で最終合意し、2033年度頃の運行再開を目指す

JR日南線（油津～志布志）

JR九州と宮崎県、鹿児島県、沿線3市（志布志、日南、串間）による任意の協議会を設置し、将来のあり方を検討

※2025年12月末現在



島民の生活を支える離島航路の維持・確保のための取組

九州運輸局管内では全国272航路のうち3割を占める84航路（2025年4月1日現在）の離島航路を有し、離島住民の日常生活や地域経済を支えるこれらの航路を確保・維持する様々な施策を行っています。

離島航路の運営等確保のための支援

全国に127航路あるうちの管内49航路（2025年4月1日現在）の補助対象航路に対しては、運営費補助（欠損に対する補助）をはじめ、船舶の代替建造に対する補助、離島住民向け運賃割引への支援などを行っています。

- ① 離島航路の運営費等に対する補助
- ② 離島住民を対象とした運賃割引補助
- ③ 公設民営化等による船舶代替建造費用への補助

補助対象は唯一かつ赤字の航路



バリアフリー施策の推進

ユニバーサルデザインを踏まえた総合的なバリアフリー施策を推進しています。

施設・車両のバリアフリー化

バリアフリー基本方針における目標達成のため整備を推進



リフト付き空港連絡バス

心のバリアフリーを推進

バリアフリー教室を通じてバリアフリーに関する理解を増進



バリアフリー教室（盲導犬）

各機関との連携した取組

高齢者、障がい者及び行政機関等関係者が連携し定期的にバリアフリーの状況を把握・評価



現地視察